

平成23年度第1回生涯学習推進会議議事録

日 時：平成23年7月14日（水）

午後1時30分～3時

会 場：木更津市民総合福祉会館2階第1談話室

出席者 工藤会長、小磯副会長、金子委員、平野委員、渡辺委員、浅井委員
土屋委員、小磯委員、池田委員、佐久間委員（10名）
事務局 初谷教育長、石井教育部長、北原次長、根本課長、原主幹、水越主査

1. 開会

事務局： ただ今より、平成23年度木更津市生涯学習推進協議会第1回定例会を開催いたします。本会議は木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されております。本日の傍聴人は0人です、報告いたします。また本日の会議成立に関してですが、委員14人中10人の出席で4人の欠席です。生涯学習推進協議会設置要綱第6条第2項の規定により会議の成立を報告いたします。

それでは、最初に工藤会長からごあいさつをお願いいたします。

2. あいさつ

工藤会長： 皆さんこんにちは、昨年度1年会長として務めさせていただきましたが、今年度で2年目に入りました。引続きご協力をお願いしたいと思います。

さて、3月に発生した大震災から4ヶ月経ちましたが、依然として混沌とした状況が続いています。再建復興へ向けての不眠不休の作業には頭を下げたくなります。また、首都圏も放射能・節電など私達もこの状況は力を添えていきたいですね。設置目的に沿って生涯学習・社会教育の一層の推進にお力添えを頂きあいさつとさせていただきます。

事務局： 続きまして初谷教育長よりごあいさつをお願いいたします。

初谷教育長： 暑い中お集まり頂きましてありがとうございます。今朝は日本女子サッカーの大躍進に日本中が久しぶりに明るい話題で盛り上がりましたね。私はちょうど戦後のオリンピックで水泳の古橋選手が日本人に勇気を与えてくれたことと重なりあった気がいたしました。

さて、委員の皆様におかれましては日頃より「誰もが・いつでも学びたい時に学べる学習機会の提供・条件整備の推進・青少年健全育成の推進」についてご協議・ご意見頂きありがとうございます。本市では既に定着化してまいりました「通学合宿」「学校キャンプ」また「トムソーヤの冒険」と特徴ある青少年育成事業が数多く、公民館地域住民会議を中心に展開しております

今年度はふるさと文化の継承と言うことで郷土博物館金のすずで太刀4振を復元し特別展を開催しております。またさらに馬具の復元にもとりかかっており委員の皆様も是非一見して頂き郷土文化・歴史の素晴らしさを感じて

いただければと思います。これであいさつとさせていただきます。

自己紹介：委員及び事務局職員

3. 会議

事務局： ありがとうございます。それでは定例会を開催いたします。なお、今後の進行につきましては、生涯学習推進協議会設置要綱第6条により会長に進行をお願いいたします。それでは工藤会長よろしくをお願いいたします。

工藤会長： それでは、これより進行を務めさせていただきます。平成22年度木更津市生涯学習事業について、生涯学習市民公開講座・生涯学習フェスティバル・生涯学習バス「まなび」の運行状況の3点について、事務局の説明をお願いします。

事務局： 事前に送付させていただいておりますのでポイントを説明いたします。生涯学習市民公開講座ですが、7回の講義を開催しております。主な年齢層は60～70歳台が多く、最終回にアンケートを実施し参加者の要望の把握に努めております。学びたい分野が多岐に渡っていますが、法律を中心にしながら、特に希望の多い歴史分野も取り入れていきたいと考えております。今後はリピーターがどの程度参加しているのか調査したいと考えております。

生涯学習フェスティバルでは市民会館フェスティバル及び木更津市リサイクルフェアと合同で実施しております。3団体合同では1万人を超える来場者がありました。大ホールではお笑いタレントの行事や巨大ロボットカブトムシも大きな要因であると思います。

生涯学習バスですが、公民館はじめ社会教育関係機関の利用が多く、市民の体験的学習の支援に役立っていると考えられます。アクアライン通行料金の減額や高速道路網の整備の結果より遠くへの要望が高まっています。

工藤会長： ご意見やご質問などはございますか？

金子委員： 市民公開講座のアンケート結果ですが、やはり男女とも高齢者が多いのは理解できます。短期集中の取り組み方やテーマや内容の決定について何か事務局の考えはありますか。

事務局： 開催回数においては7回が適当な回数であると思います。内容の面で満足いただけるよう努力したいと思います。

堀切委員： 木更津市PTA連絡協議会では(わくわくにちようびあそびたんけんたい)で子ども達にゲームを提供しています。魚釣りゲームのようなものですが、大人達ではマンネリ化している感じですが、子どもは飽きもなく楽しく参加しているようで、今年度も同じ内容で実施したいと思います。

土屋委員： 私達(木更津市婦人会連絡協議会)も受付などで参加協力いたしました。

事務局： 文化協会の会場である3階に人を呼び込むためスタンプラリーを実施したところ、多数の方が(子どもが多いが)3階に上がってこられた。大人の方もスタンプラリーに参加したい希望もありますので、景品係りなどの受付体制の充実を図りたいと思います。

工藤会長： バスの運行状況について伺いたのですが、公民館事業における利用が

150件程あるようですが、どのような内容でしょうか。

事務局： 歴史講座(郷土史講座)や健康推進のためハイキング教室(野山歩きの会)、子ども達の体験活動(アフタースクール事業)や、博物館等における体験学習活動が主なものです。

金子委員： 私たちは(公民館事業で)木更津市内や千葉県内の文化史跡の学習を実施しています。鎌倉へ行った時ですが、他県の人だと思いましたが「バスの“まなび”ってなんですか？」と尋ねた方がいて、私から生涯学習バスの説明をしたところ「木更津はいいですね。そのようなバスがあるなんて」とお褒めの言葉をいただきました。ところで私からの要望ですが、出発・帰着に時間が決まっております。県内史跡めぐりなどで北総地区へも行きたいと計画しても制限もあるようですが、この辺の配慮はあるのでしょうか。

事務局： できる限りご要望にお応えしたいのですが、半径100キロ往復200キロを原則としております。但し銚子市は県内有数の歴史あふれる地区でもあり豊富な文化遺産もあることから例外的に認めております。また野田市関宿には博物館もありますが、距離ももちろんですが交通経路も不便なことから視察内容を検討し対応したいと存じます。アクアラインにより交通所要時間が大幅に軽減されており、「さらに遠くへ」の声があることも承知いたしておりますが、検討課題のひとつであることと認識しております。

工藤会長： 他に何かご質問やご意見はありますか。無ければ次に進みます。平成23年度の事業計画について説明をお願いいたします。

事務局： やはり、これも事前に資料を送付させていただいておりますので大きな点を中心に説明いたします。まず、平成23年度木更津市生涯学習の重点目標ですが、広く生涯学習目標ということで他課の業務も定められております。したがって私どもの解る範囲であればお応えできると思っておりますのでご了承ください。

生涯学習市民公開講座です。すでに7月9日(土)から始まっております。2回目が来週23日(土)に開催されます。今年度は先ほどからごあいさつなどでも取り上げられているように3月11日の東日本大震災により大幅な節電が求められたことから、冷房による電力消費が多く見込まれる8月については(当時は)計画停電の心配もあったため開催を見送り、7月初旬からの開催といたしました。若干申し込みの出遅れはあったようですが、徐々に参加申込者も増えているようです。また木更津高専の先生方が持つ理工系の講座内容も今後計画したいと考えております。

生涯学習フェスティバルも昨年度同様、市民会館フェスティバル及び木更津市リサイクルフェアと市民会館と合同で実施する予定です。来週21日(木)に第1回目の実行委員会を開催し内容を決定したいと考えております。以上です。

土屋委員： 市民公開講座の申し込みはまだ間に合いますか。

事務局： まだ大丈夫です。

浅井委員： (生涯学習の重点目標の中に)「いつでもだれでも学べる」という標記があ

りますが、一般成人や青少年を対象とした講座が多く感じます。高齢者を対象とした学級や講座が少ないように感じられます。金田地区では公民館と一緒に高齢者学級が実施されています。この学級の中では、(生涯学習バス)「まなび」も何回か利用させていただきました。バスの利用統計に(私たちの活動が)記載されていないようですが実績に反映されているのでしょうか。

私は生涯学習推進のためにも、重点施策や事業計画の中にもぜひ「高齢者」を明記していただきたいと思います。高齢者の励みにもなるかと思います。

事務局： 「高齢者」については高齢者推進事業に含まれていると解釈しておりましたが、やはり高齢者教育の充実は大きな課題であると思います。かつては文部省(当時)の補助事業や生きがい対策を推進する事業がありました。高齢者に対する社会意識が希薄になる中で縮小されていった経過になろうかと思っています。

工藤会長： 生涯学習バスの利用統計の件ですが、来年度は事業名など記載できるように事務局で検討したらいかがでしょうか。

事務局： 来年度はその方向で作成いたします。

根本課長： 平成23年度はこの重点目標を定め進んでおりますので、来年度以降浅井委員のご意見を参考に「高齢者学習の推進」について検討してまいります。

佐久間委員： 生涯学習フェスティバルの事業内容で、毎年記念講演会を予定しているようですが、今年度の内容や講師はもう決まっているのでしょうか。特に今年は大きな震災や地震、津波もあったので、災害や防災についての講演なども参加者の要望もあると思います。

事務局： ご意見ありがとうございます。今年度の記念講演については教育委員会内部でも検討いたしました。震災に関連する講演内容とのことですが、震災後には各種メディアで特集番組や記事が組まれるなど大きく取り上げられていることと、消防関係の展示・出展もあり、その中で防災関係の対応が可能であると考え、むしろ元気がでる街づくりをテーマに企画しております。予定ですがムーミン列車等で街づくりを進めるいすみ鉄道社長の鳥塚 亮さんを候補者として進めているところです。

工藤会長： 木更津高専でも生涯学習市民公開講座や他の事業にも積極的にお手伝いをいたしますが、私どもは理数系に教員が多く、一般教養の講義内容は難しいでしょう。また、理数系ですと高齢者の方よりも成人や青少年の方が参加できるような講座が企画されるといいでしょう。

根本課長： 多様なニーズに応えられるよう研究いたします。

工藤会長： ボランティア活動の紹介がありましたが、青少年活動において活動している良い事例があれば可能な限り紹介してください。

根本課長： ユースボランティアやアフタースクールボランティアの方が、清見台公民館と桜井公民館で実施されている通学合宿に、子ども達の中に一緒に加わって活動しています。また今年は筑波大学の学生も参加し「地域の教育力」の検証の場として桜井公民館で実施された二中学区通学合宿に参加していただきました。

工藤会長： 木更津市の公民館では様々な事業を実施しているようですね。千葉大学の長沢教授や明石教授の著書を拝見したところ、本当に多数の学生が参加されていることにおどろきました。

渡辺委員： 木更津第二小学校の子ども達も公民館事業への参加が多くなっています。地元のボランティアの方々の参加も積極的だと思います。家庭的に恵まれないうちも増加している現在、通学合宿などでおじいちゃん、おばあちゃんがいる家庭の雰囲気味わえる貴重な体験の場と考えています。公民館は良い役割を担っている、大事だと思います。

根本課長： 核家族では昔の遊びの継承が難しい。通学合宿に参加している子ども達の中でも高齢者と生活していない子とコミュニケーションの差が見えてきます。この差を埋めていく必要性が大切だと思います。

浅井委員： 高齢者になつかない子ども達が増えているということ、それまでの教育が間違っていたのではないかと少々反省しています。「見ず知らずの人」に声をかけない、かけられない。このことがいつの間にか「あいさつ」から遠ざかってしまったのでしょうか。高齢者はもちろん、地域の大人も積極的にあいさつ運動を推進し、「おはよう」をきっかけに子ども達の中へ入っていかなければならないですね。

渡辺委員： 各学校で開かれた学校作りを推進していただき、地域住民の方にもぜひ参加して欲しいと思っています。戦争体験や昔あそび体験、放課後子ども教室にボランティアとして参加することで地域コミュニティを構築する事業を充実させていってはどうでしょう。

平野委員： 幼稚園などでも核家族化が進み、若い夫婦家庭に対して、お年寄りの子育て支援が少なくなっています。地域コミュニティが広がれば、子育てに悩みや不安、疑問を持つ母親の負担も少なくなると思います。また今回の震災をきっかけとして、地域の防災意識も高まっているので総合的な地域づくりが取り入れられると良いと思います

4. 閉会

工藤会長： まだまだ貴重なご意見があろうかと思いますが、予定された時間となりました。皆様方のご協力が無事会議を進行することができました。ありがとうございました。

事務局におかれましては、本日、審議されました意見などを参考に、木更津市の生涯学習体制充実のため一層の努力をお願いいたします。また委員各位におかれましても、豊かな生涯学習社会実現のため、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本日の会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

平成23年8月24日

木更津市生涯学習推進協議会
会長 工藤 敏夫